様式１１

業務委託（外注）契約書（例）

○○商店街振興組合理事長○○○○（以下「甲」という。）と　○○株式会社代表取締役社長（以下「乙」という。）とは、甲が実施する地域商店街活性化事業「○○事業」について、次のとおり委託契約を締結する。

（目的）

第１条　　本契約は甲乙相互間の信頼に基づく公正な取引関係を確立し、相互の利益と業務の発展をはかることを目的とする。

　なお、委託業務遂行に関する事務取扱の細目については、本契約の各条項で定めるほか、甲乙協議の上取り決めるものとする。

（業務の内容）

第２条　　甲は、次に定める業務（以下「委託業務」という）の全部又は一部を乙に委託し、乙はこれを受託する。

　(1)　○○○○事業の企画・運営及びこれに付随する一切の業務

　(2)　○○○○事業の開催・運営及びこれに付随する一切の業務

　(3)　○○○○○・・・・・・

　(4)その他甲乙協議の上決定された業務

　２　甲または乙は必要があるときは委託業務の内容、実施方法等の変更及び追加等を行うことができるものとする。この場合、甲乙協議の上、委託業務の内容、実施方法、業務委託料などを改めて決定するものとする。

（注意義務）

第３条　　乙は、甲と緊密に連絡をとり、甲から乙への委託業務に係る業務指示等に基づき善良なる管理者の注意をもって委託業務を遂行するものとする。

（再委託）

第４条　　乙は自社の責任において、委託業務の全部または一部について、第三者に再委託できるものとする。

（業務委託料及び支払方法）

第５条　　甲は委託業務に係る業務委託料○○○○○円を、乙に支払うものとする。

（秘密保持）

第６条　　甲及び乙は本契約に際して、または本契約に基づく委託業務遂行上知り得た双方の技術上、営業上、及び個人情報その他の秘密情報の秘密を遵守せしめるものとし、本契約有効期間中のみならず、本契約終了後も相手方の事前の承諾を得ることなく、第三者に開示・漏洩しないものとする。

（事故処理）

第７条　　本契約に基づく委託業務の遂行に支障をきたすおそれのある事態が生じた場合は、速やかに相手方に連絡するとともに、甲乙協力してその解決処理にあたるものとする。

（契約期間）

第８条　　本契約の有効期間は、本契約締結の日から○○年○○月○○日とする。

（協議事項）

第９条　　本契約に定めのない事項及び本契約各条項の解釈に疑義が生じた場合は、甲乙互いに信義・誠実の原則に従い、協議・決定するものとする。

上記契約のあかしとして、本契約書を２通作成し、甲乙各１通を保有するものとする。

平成　　年　　月　　日

　　　　　　　甲：住所

○○商店街振興組合

理事長　　　○　　○　　○　　○

　　　　　乙：　住所

　　　　　　　　　 社名

　　　　　　　　　 代表者名